

リスク評価（一次）評価Ⅰの結果を踏まえた対応(案)

<リスク評価（一次）評価Ⅰの結果を踏まえた対応の説明>

評価Ⅱ着手（人）：人健康影響の観点で、平成27年度からリスク評価（一次）評価Ⅱに着手する。	6物質
評価Ⅱ着手（生態）：生態影響の観点で、平成27年度からリスク評価（一次）評価Ⅱに着手する。	8物質
評価Ⅰ段階継続：次年度、リスク評価（一次）評価Ⅰを行い、優先順位を見直す。	107物質
数量監視：当面の間、数量監視を行う。ただし、次年度必要に応じてリスク評価（一次）評価Ⅰを行い、優先順位を見直す。	8物質

<平成27年度からリスク評価（一次）評価Ⅱに着手する物質の選定根拠について>

【人健康影響】

○次のいずれかに該当する物質を選定。

- ・ 人に対する発がん性があると分類されている物質（発がん性の有害性クラス1等の物質）。
- ・ 一般毒性、発がん性、変異原性のリスク懸念の可能性がいずれも高い物質（発がん性の有害性クラス2かつ変異原性の有害性クラス2の物質で、推計排出量が多く、かつ、一般毒性・生殖発生毒性についてリスク懸念箇所が多い又はリスク懸念影響面積が広い物質）。

【生態影響】

○次のいずれかに該当する物質を選定。

- ・ 排出源ごとの暴露シナリオにおいてリスク懸念箇所数が多い物質。
- ・ 水系の非点源シナリオにおいてリスク懸念が認められた物質。
- ・ 海域の非点源シナリオについて推計排出量の多い物質。

優先評価 化学物質 の番号	優先評価化学物質の名称	リスク評価（一次） 評価Ⅰの結果を 踏まえた対応
1	二硫化炭素	評価Ⅱ着手（生態）
3	n-ヘキサン	評価Ⅱ着手（生態） 評価Ⅰ段階継続（人）
5	イソブレン	評価Ⅰ段階継続
6	クロロメタン（別名塩化メチル）	評価Ⅰ段階継続
8	クロロホルム	評価Ⅰ段階継続
9	プロモメタン（別名臭化メチル）	評価Ⅰ段階継続
10	クロロエタン	評価Ⅰ段階継続
11	1, 2-ジクロロエタン	評価Ⅰ段階継続

14	1, 3-ジクロロプロペン (別名D-D)	数量監視 (年間推計排出量 1 t 以下)
15	メチルアミン	評価 I 段階継続
16	ジメチルアミン	評価 I 段階継続
17	テトラメチルアンモニウムヒドロキシド	評価 I 段階継続
18	ニトロメタン	評価 I 段階継続
19	エチレンオキシド	評価 I 段階継続
21	1, 2-エポキシブタン	数量監視 (年間推計排出量 1 t 以下)
22	エピクロロヒドリン	評価 I 段階継続
23	エチレングリコールモノメチルエーテル	評価 I 段階継続
24	2-(1-メチルエトキシ)エタノール	評価 I 段階継続
26	アセトアルデヒド	評価 I 段階継続
28	酢酸ビニル	評価 I 段階継続
29	メチルニドデカノアート	評価 I 段階継続
31	アクリル酸メチル	評価 I 段階継続
32	アクリル酸エチル	評価 I 段階継続
34	アクリルアミド	評価 I 段階継続
35	メタクリル酸	評価 I 段階継続
36	エチレンジアミン四酢酸	評価 I 段階継続
37	ニトリロ三酢酸	評価 I 段階継続
38	アセトニトリル	評価 I 段階継続
40	チオ尿素	評価 I 段階継続
43	ヘキサメチレンニジイソシアネート	評価 I 段階継続
46	トルエン	評価 I 段階継続
47	スチレン	評価 I 段階継続
48	イソプロペニルベンゼン (別名 α -メチルスチレン)	評価 I 段階継続
50	エチルベンゼン	評価 I 段階継続
51	ベンジルクロリド (別名塩化ベンジル)	評価 I 段階継続
52	<i>o</i> -ジクロロベンゼン	評価 I 段階継続
53	<i>p</i> -ジクロロベンゼン	評価 I 段階継続

55	<i>m</i> -フェニレンジアミン	評価Ⅰ段階継続
56	<i>o</i> -フェニレンジアミン	評価Ⅰ段階継続
58	<i>o</i> -クロロアニリン	評価Ⅰ段階継続
59	ニトロベンゼン	評価Ⅰ段階継続
60	<i>p</i> -クロロニトロベンゼン	評価Ⅰ段階継続
62	フェノール	評価Ⅰ段階継続
65	ピロカテコール（別名カテコール）	評価Ⅰ段階継続
66	フタル酸ビス（2-エチルヘキシル）	評価Ⅰ段階継続
67	テレフタル酸ジメチル	評価Ⅰ段階継続
68	テレフタル酸	評価Ⅰ段階継続
69	1, 2, 4-ベンゼントリカルボン酸1, 2-無水物	評価Ⅰ段階継続
70	オクタデシルアミン（ <i>N-B</i> ）トリフェニルボラン	評価Ⅰ段階継続
74	メチレンビス（4, 1-フェニレン）=ジイソシアネート	評価Ⅰ段階継続
76	ナフタレン	評価Ⅰ段階継続
77	ジシクロペンタジエン	評価Ⅰ段階継続
79	ビスクロ〔2. 2. 1〕ヘプタン-2, 5（又は2, 6）-ジイル=ジシアニドの混合物	数量監視 （年間推計排出量1 t 以下）
80	1, 4-ジオキサソ	評価Ⅰ段階継続
81	モルホリン	評価Ⅰ段階継続
82	ϵ -カプロラクタム	評価Ⅰ段階継続
83	ピリジン-トリフェニルボラン（1/1）	数量監視 （製輸・輸入数量10 t 以下）
84	ビス（2-スルフィドピリジン-1-オラト）銅	評価Ⅰ段階継続
85	ジカリウム=ピペラジン-1, 4-ビス（カルボジチオアート）	評価Ⅱ着手（人）

87	4, 4' -イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパンの重縮合物（別名ビスフェノールA型エポキシ樹脂）（液状のものに限る。）	評価Ⅰ段階継続
90	メタノール	評価Ⅰ段階継続
91	ジエタノールアミン	評価Ⅰ段階継続
92	過酢酸	評価Ⅰ段階継続
93	無水酢酸	評価Ⅰ段階継続
94	アクリル酸	評価Ⅰ段階継続
95	クロロ酢酸ナトリウム	評価Ⅰ段階継続
96	シクロヘキサン	評価Ⅰ段階継続
97	ヒドロキシルアミン	評価Ⅰ段階継続
98	エチルアミン	評価Ⅰ段階継続
99	N, N-ジメチルプロパン-1, 3-ジイルジアミン	評価Ⅰ段階継続
100	N-メチルジデカン-1-イルアミン	数量監視 (年間推計排出量 1 t 以下)
102	イソプロピルアルコール	評価Ⅰ段階継続
103	1-オクタノール	評価Ⅰ段階継続
105	エチレングリコール	評価Ⅰ段階継続
106	プロパン-1, 2-ジオール	評価Ⅰ段階継続
107	2-アミノエタノール	評価Ⅰ段階継続
108	トリエタノールアミン	評価Ⅰ段階継続
109	2-ブトキシエタノール	評価Ⅰ段階継続
110	2-(2-エトキシエトキシ)エタノール	評価Ⅰ段階継続
111	イソブチルアルデヒド	評価Ⅰ段階継続
112	グリオキサール	評価Ⅰ段階継続
113	アクロレイン	数量監視 (年間推計排出量 1 t 以下)

114	アセトン	評価Ⅰ段階継続
115	メチルエチルケトン	評価Ⅰ段階継続
116	メチルイソブチルケトン	評価Ⅰ段階継続
117	ギ酸	評価Ⅰ段階継続
118	2-ブトキシエチルニセタート	評価Ⅰ段階継続
119	クロロ酢酸	評価Ⅰ段階継続
122	硫酸ジメチル	評価Ⅰ段階継続
123	(1-ヒドロキシエタン-1, 1-ジイル) ジホスホン酸	評価Ⅰ段階継続
124	1-ブタノール	評価Ⅰ段階継続
125	キシレン	評価Ⅰ段階継続
126	クメン	評価Ⅰ段階継続
129	1, 3-ジイソシアナト (メチル) ベンゼン	評価Ⅱ着手 (人)
131	シクロヘキサノン	評価Ⅰ段階継続
132	3, 5, 5-トリメチルシクロヘキサ-2-エン-1-オン	評価Ⅰ段階継続
133	(E)-4-(2, 6, 6-トリメチルシクロヘキサ-1-エン-1-イル) プター-3-エン-2-オン	評価Ⅰ段階継続
134	3-(4-tert-ブチルフェニル)-2-メチルプロパナール	評価Ⅰ段階継続
135	テトラヒドロフラン	評価Ⅰ段階継続
136	N-メチル-2-ピロリドン	評価Ⅰ段階継続
138	ジナトリウム=2, 2'-ビニレンビス [5-(4-モルホリノ-6-アニリノ-1, 3, 5-トリアジン-2-イルアミノ) ベンゼンスルホナート] (別名フルオレスセント-260)	評価Ⅰ段階継続
140	アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム (アルキルは炭素数が10から14までの直鎖アルカンの基に限る。)	評価Ⅰ段階継続
141	4-ブromo-2-(4-クロロフェニル)-5-(トリフルオロメチル)-1H-ピロール-3-カルボニトリル	数量監視 (製輸・輸入数量10 t 以下)
142	チオシアン酸銅 (I)	評価Ⅱ着手 (生態)
143	炭化ケイ素	評価Ⅰ段階継続
144	二塩化ニッケル (II)	評価Ⅱ着手 (人)
145	三酸化クロム (VI)	評価Ⅱ着手 (人)
146	ビス (スルファミン酸) ニッケル (II)	評価Ⅱ着手 (人)
147	二塩化酸化ジルコニウム	評価Ⅰ段階継続
148	硫酸ニッケル (II)	評価Ⅱ着手 (人)

149	3-クロロプロペン（別名塩化アリル）	評価Ⅰ段階継続
150	2-イソブトキシエタノール	評価Ⅰ段階継続
151	アリル=ヘプタノアート	評価Ⅰ段階継続
152	2, 2', 2' '-ニトリロ三酢酸のナトリウム塩	評価Ⅱ着手（生態） 評価Ⅰ段階継続（人）
153	N-[3-(ジメチルアミノ)プロピル]ステアルアミド	評価Ⅱ着手（生態） 評価Ⅰ段階継続（人）
154	クロロベンゼン	評価Ⅰ段階継続
155	p-トルイジン	数量監視 （年間推計排出量1 t以下）
156	クレゾール	評価Ⅰ段階継続
157	4-(1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル)フェノール	評価Ⅰ段階継続
158	N-メチルカルバミン酸2-sec-ブチルフェニル（別名フェノブカルブ又はBPMC）	評価Ⅱ着手（生態）
159	ナトリウム=3, 5-ジクロロ-2, 4, 6-トリオキソ-1, 3, 5-トリアジナン-1-イド（別名ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム）	評価Ⅱ着手（生態）
160	2-tert-ブチルアミノ-4-シクロプロピルアミノ-6-メチルチオ-1, 3, 5-トリアジン	評価Ⅱ着手（生態）
161	アクリル酸重合物のナトリウム塩	評価Ⅰ段階継続
162	コールタール	評価Ⅰ段階継続
163	コールタールピッチ	評価Ⅰ段階継続
173	N, N-ビス（2-ヒドロキシエチル）アルカンアミド（C=8, 10, 12, 14, 16, 18、直鎖型）、（Z）-N, N-ビス（2-ヒドロキシエチル）オクタデカ-9-エンアミド又は（9Z, 12Z）-N, N-ビス（2-ヒドロキシエチル）オクタデカ-9, 12-ジエンアミド	評価Ⅰ段階継続 ^{※1}

※1・・・優先評価化学物質番号30番のN, N-ビス（2-ヒドロキシエチル）オレアミドは173番のN, N-ビス（2-ヒドロキシエチル）アルカンアミド（C=8, 10, 12, 14, 16, 18、直鎖型）、（Z）-N, N-ビス（2-ヒドロキシエチル）オクタデカ-9-エンアミド又は（9Z, 12Z）-N, N-ビス（2-ヒドロキシエチル）オクタデカ-9, 12-ジエンアミドに包含のため平成26年4月1日に指定を取消し。優先評価化学物質の番号173として評価Ⅰを継続する。